

舞学校だより

平成28年1月8日

1月号

新年のスタート・やる気ホルモンスイッチオン

校長 野村 正 司

子供が勉強や運動に自分からやる気を出して頑張る。そして日々の生活で生き生きとしている。これは親や教師の願いでもあります。頭ごなしに「頑張れ！やる気を出せ！」と叱咤激励してもやる気になるどころか、逆効果になってしまうこともあります。子供の主体性を引き出すことはなかなか難しい問題です。子供の『やる気』にスイッチを入れるにはどうしたらよいのでしょうか。

大脳生理学では、『やる気』とは、人間が積極的な行動をとろうとする意欲と定義しています。その『やる気』は、脳のメカニズムに大きな影響を及ぼすホルモンの分泌と深い関係があります。特にノルアドレナリンという物質は脳を活性化させ、集中力や学習能力、作業能力を最大限に発揮させる作用をもっています。ノルアドレナリンを適切に分泌させると『やる気』がわいてきます。ではどうすればよいのでしょうか。そのためには、次の3つの言葉がキーワードになるそうです。

『好奇心』・・・未知のものを知り、試したいという欲望を生み出す。

『目 標』・・・より具体的な目標は、それを達成したいという欲望を生み出す。

『報 酬』・・・それを手に入れたいたいという欲望を生み出す。

以前、『報酬』について、このような実験を試みていました。

「Aグループ」⇒絵を描いてくれたら、賞状とごほうびをあげる。

「Bグループ」⇒何もあげないが、描いた絵を先生が具体的にほめる。

実験は3日目で大きな違いが表れました。「Aグループ」は絵を描くことをやめてしまう、「Bグループ」は集中して絵を描き続ける、でした。では、どうしてこのような結果になったのでしょうか。それは、目的意識の違いと考えられます。「Aグループ」は絵を描くことへの興味よりも賞状やごほうびがほしいという欲望が勝り、絵を描く興味が薄れてやめてしまったのでしょう。賞状やごほうびが目的になってしまうと、慣れるにつれて『やる気』は失われてしまいます。ごほうびで『やる気』を続けさせようとするなら、ごほうびの内容をアップさせなくてはなりません。「次のテストで100点を取ったらお小遣いをあげる」、「何番以内に入ったら何かを買ってあげる」・・・子供の『やる気』を引き出すために、お金やものを与えることをごほうびにしてしまう。ありがちなことですが、本当の『やる気』は育ちません。

「Bグループ」の子供はごほうびもないのになぜ集中して絵を描き続けることができたのでしょうか。それは絵を描き上げた満足感とほめられた心地よさで脳内のノルアドレナリンが分泌されたからです。他人からの賞賛や自分の力で得た満足感は、やる気ホルモンの量を適切に分泌させるのです。

何か興味のあるものを見つける、何か認められるものができると、子供は変わってきます。『好奇心』、『目標』、『報酬（心の満足感）』を大切にして、子供の『やる気』を育て、『自己肯定感』も高めたいものです。

新年を迎え、新しい目標をもって頑張ろうとしている子供たちに、教職員一同、しっかりとかわっていきたくて考えています。保護者・地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

生活目標

◆礼儀正しくしよう

安全目標

◆寒い日の服装・持ち物を工夫し
安全に歩こう 生活指導委員会

新しい1年がスタートしました。あいさつ・言葉遣い・遅刻をしないなど、人としての振る舞いや、校帽をかぶる・名札をつける、など学校のきまりについて、心新たに取り組んでほしいと思います。転倒防止や本校児童の確認のため、ポケットに手を入れることなく手袋をする・校帽をかぶる、についてもご家庭でご確認ください。



♪さわやかタイム♪

音楽専科 柴田 裕子

毎月1回、水曜日の朝に「さわやかタイム」という音楽集会を行っています。4月は1年生が覚えたての「校歌」を歌って、上級生から拍手をもらいました。いつもは行事の歌や季節の曲などを歌っていますが、音楽会で「元気にのびのび」歌うことを覚えた低学年の子供たちにも、上級生のような「心に響く」歌に挑戦してほしいと願い、12月は「花は咲く」を歌いました。言葉を大切に優しい気持ちで歌う声は、体育館いっぱいに響き渡り、被災地に届いて欲しいという思いが込められているようでした。その歌声を聴き、優しい表情を見ていると、とてもさわやかな気分になり素敵な一日のスタートになりました。



小原先生の特別授業

国語部

本校では、毎年、小原乃梨子先生に国語の特別授業を開いていただいています。1年生から6年生まで、物語文を中心に、発声練習や音読の仕方などを楽しく学んでいます。今年度も、1回目が12月15日(火)に行われ、1年生と6年生が指導を受けました。

1年生は、「ずうっと、ずっと大すきだよ」、6年生は、「柿山伏」について教えていただきました。1年生は、「ずうっと、ずっと大すきだよ」の読み方を、実際に手の中に生き物がいると思って語りかけるように言うといことを教えていただきました。6年生は、小原先生の「柿山伏」の朗読を聞きました。狂言の特徴である抑揚ある発声を聞き、子供たちは狂言の世界に引き込まれていました。



子どもサミット (港区・高陵アカデミー)

代表委員担当 辺見 優・小松 拓史

12月7日(月)に港区子どもサミットが開催されました。毎年港区の各小・中学校から代表児童が集まり、様々な問題について話し合いが開かれます。今年筭小学校からは、代表委員会の6年2組の金泉朝飛さん、下吹越アナさんが出席しました。テーマは「いじめに対してどう向き合っていくか」。今回は携帯電話のメッセージ等に端を発するいじめについて、意見を出し合いました。二人とも代表に相応しく積極的な態度でたくさんの意見を出していました。サミットの終わりには、「私たちの主張」という形で話し合いをまとめました。筭小は、『目と目の会話を大切に』という発表をし、画面を通してではない面と向かったコミュニケーションの必要性を提案しました。他校からも、相手の気持ちを思いやるのが大切だという主張が多くありました。一人一人が安心して生活できる学校にするために、このサミットで話したことを全校に提案していきたいと思います。

12月16日(水)は高陵アカデミー子どもサミットが高陵中学校で行われ、筭小学校からは4・5年生の代表委員が出席しました。筭小学校の取り組みとして、インターナショナルデーやワールド活動、日本語学級との交流などを発表しました。また、それぞれの学校での取り組みについて意見を交換し合う中で、エコキャップ運動やあいさつ運動などを継続して行っていくことや、学校の決まりを代表委員で編集し、配布することなどが新たに提案されました。

筭小学校の代表としてそれぞれの子どもサミットに参加した子供たちは、意見を発表したり話し合ったりする中で、一人一人が考えを深めることができました。今回の経験をそれぞれの学級、学年そして学校の中の活動で生かしていってほしいと思います。



6年 日光移動教室

6年担任 小松 拓史・辺見 優

11月30日（月）から12月2日（水）の3日間、6年生は日光移動教室に行きました。大きな行事が続いた2学期のしめくくりとなる移動教室でしたが、子供たちは事前学習にも熱心に取り組んでいました。今年度は箱根の施設が使えなくなったため、冬の日光での移動教室となり、寒さなどが心配でしたが、すべての行程を予定通り行うことができました。伝統工芸の日光彫りの体験、世界遺産である日光東照宮の見学など、日頃の学校では学べない様々なことを、体験を通して学ぶことができました。あっという間の3日間でしたが、もうすぐ筍小学校を卒業する子供たちにとって、貴重な学びの場であり、さらに仲間との素敵な思い出となったようです。小学校生活もとうとう残り3か月となりました。ここで身に付けた様々な力を学校生活の中で発揮し、最高学年としての立派な姿で卒業式を迎えてほしいと思います。

1日目：11月30日（月） 「日光の伝統的な産業を学ぼう！」



最初の見学地は大谷資料館です。東京ドーム1個分の広さの採石場跡で、現在は映画の撮影などに使われています。次に行ったのはゆば製造。ゆばの作り方を教わり、実際に体験・試食を行いました。夜は伝統工芸の日光彫りを体験しました。「ひっかき刀」を使い、自分で選んだ図柄を夢中で彫りました。

2日目：12月 1日（火） 「日光の自然を体験し、観察し、感じよう！」



2日目はまず、華厳の滝を見ました。目の前に広がる大迫力の滝に圧倒されていました。次に、湯元の源泉に行きました。周りは雪景色でした。その後、足尾銅山を見学しました。全ての坑道をつなげると、東京から福岡までの距離になるそうです。最後は富弘美術館で星野富弘さんの作品を鑑賞しました。

3日目：12月 2日（水） 「世界遺産を学ぼう！」



世界遺産の日光東照宮では、ガイドさんに三猿や眠り猫、陽明門の彫刻などの説明をしていただきながら、じっくりと見学しました。最後の見学地の東武ワールドスクウェアでは、25分の1サイズになった世界各国の建築物などを、グループごとに見て回りました。隠れキャラも見つけました。

校内書き初め展 18日(月)～29日(金)

国語部

1月12日(火)・13日(水)に書き初め会があります。

新年のすがすがしい雰囲気の中で、心を込めて美しい文字を書くことにより、書写能力の向上や書くことの意欲・関心を高めることをねらいとしています。

中・高学年は体育館、低学年が各教室でそれぞれ学習をします。毛筆を行う学年は、服装等の配慮をお願いします。また、ご家庭に新聞紙があれば、多めにお持ちいただけると助かります。

1月18日(月)～29日(金)には、校内書き初め展を行います。場所は各教室前の廊下・掲示板です。学級代表の作品は、職員室前の廊下に掲示します。

冬休み中の宿題には書き初め練習がありました。書き初め会で成果を発揮できるように、一文字一文字丁寧に取り組んで欲しいと思います。



～昨年度の書き初め会の様子～



1月の行事予定

日	曜日	行 事 ・ 予 定
1	金	元日
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	冬季休業日(終)
8	金	B時程,始業式,大掃除,給食始
9	土	
10	日	
11	月	成人の日
12	火	全校朝会,クラブ活動,書き初め会,安全指導
13	水	のびのびタイム,書き初め会,午前授業
14	木	和菓子作り体験(3年)
15	金	避難訓練
16	土	土曜授業,こどもまつり
17	日	
18	月	全校朝会,書き初め展(～1/29),発育測定(1年)
19	火	B時程,発育測定(2年)
20	水	児童集会,発育測定(3,4年)
21	木	法教育特別授業(6年)
22	金	発育測定(5,6年)
23	土	
24	日	
25	月	全校朝会
26	火	小原先生特別授業(1,5年)
27	水	さわやかタイム
28	木	聖心女子大学1日体験
29	金	B時程,書き初め展終
30	土	
31	日	

*13日(水)は区の研究会のため午前授業です。

*16日(土)2,3校時、各学級でこどもまつりのコーナーを作ります。是非、ご参観ください。